

岩手県立大学 2026(R8)年度 新入生アンケート

集計結果報告書（抜粋）

2026（R8）年5月

目 次

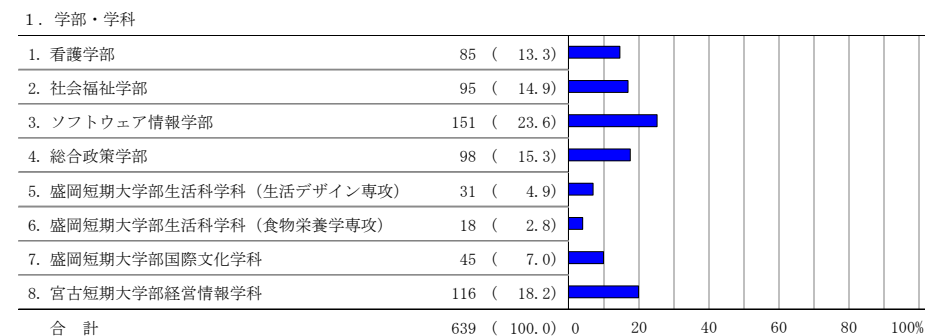
1. 調査の概要	1
○1. 学部・学科	1
○2. 性別	1
2. 調査結果の要約	2

1. 調査の概要

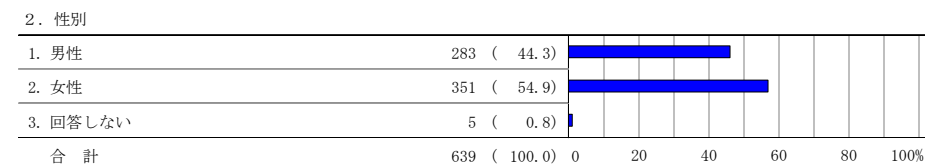
①実施時期	令和8年4月
②実施方法	Microsoft Forms により実施
③実施対象者数	712 人
④回答者数・回答率	639 件（回答率 89.7%）

⑤回答者内訳

○1. 学部・学科



○2. 性別



2. 調査結果の要約

○3. 現在の住居

全体として住居形態で割合が高いのは一人暮らし 47.1%、家族と同居 44.9%である。
一人暮らしの割合が半数を超えるのは、高い順に「ソフトウェア情報学部」60.9%、次いで「社会福祉学部」57.9%、「総合政策学部」51.0%である。

○4. 出身地及び居住地

全体として出身地は、岩手県内が 69.8%、宮城県 7.0%、青森県 6.3%、秋田県 4.4%と続き、東北 6 県の出身者が 92.8%を占めている。
居住地は全体としては盛岡市が 41.3%、次いで滝沢市が 26.3%を占めている。

問 1 大学に進学することを決めた時期

新入学者が大学進学を決めた時期について、「高校 1 年生」までに決めた割合が 70%以上の学部は「看護学部」74.1%、次いで「総合政策学部」71.4%である。

問 2 大学進学を考えた理由として重視した項目(3 項目以内を選択)

新入学者が大学進学を考えた理由について、全体として 30%以上の項目は高い順に「専門的知識や技術を修得したいから」51.2%、次いで「就職に有利だと思うから」42.4%、「資格を取得したいから」34.3%、「就職に必要な勉強をしたいから」33.6%である。

問 3 本学の志望順位

「本学はどの程度の志望順位でしたか。」との設問に対して、全体としては「第一志望だった」61.8%、「第二志望だった」27.7%、「第三志望だった」10.5%である。

問 4 本学の受験決定時期

本学の受験を決めたのは、全体としては入試直前といえる「大学入学共通テストの後」22.2%が最も高く、次いで「高校 2 年」18.2%、「高校 3 年の夏」14.9%、「高校 3 年の春」13.5%と続いている。

問 5 本学に関する情報に触れた事象や機会(複数回答)

「本学に関する情報に、触れたことがあるものはどれですか。」に対して、全体として 30%を超える項目は高い順に「本学のウェブサイト」81.7%、次いで「本学の入学案内」49.5%、「通っていた高校」38.2%、「本学の SNS」34.0%である。

問 6 本学の入試等に関する情報を入手した事象や機会(複数回答)

新入学者が本学に関する情報に入手した方法を複数回答で聞いた設問について、全体として 30%以上の項目は高い順に「本学の入学案内を読んだ」62.4%、次いで「高校の先生からアドバイスを受けた」41.3%、「インターネットの進学情報サイトを見た」40.5%、「オープンキャンパスに参加した」38.7%、「本学のウェブサイトを見た」38.5%である。

問 7 本学のウェブサイトの閲覧状況と理解度

本学のウェブサイトを閲覧したことのある学生の割合は全体として 99.5%(100-「見たことがない」-「無回答」)。全体として 92.8%が大学について「大変良く理解できた」(26.0%)、「概ね理解できた」(66.8%)と回答している。

問 8 ウェブサイトの閲覧によく使うツール

「あなたが通常、ウェブサイトの閲覧によく使うツールは何ですか」という設問について、全体としては「主にスマホを使用」が 82.0%で圧倒的に高い割合となっている。

問 9 本学の入学案内の閲覧状況と理解度

本学の入学案内を見たことがある学生は全体として 98.4%(100-「見たことがない」-「無回答」)。全体として学生の 94.1%が大学について「大変よく理解できた」(25.4%)、「概ね理解できた」(68.7%)と回答している。

問 10 参加した行事等と本学受験との関連

本学で実施している行事と本学受験への影響度に関する設問について、「2.受験決定の大きな要因」+「3.受験決定の要因の一つ」を合算した数値でみると、「4.オープンキャンパス」42.4%が最も影響度が高く、次いで「1.大学見学」30.7%、「2.大学説明会」24.3%、「3.出張講義又は出前講義(高校で実施)」13.3%、「ウィンターセッション」12.4%と続いている。

問 11 入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)と受験決定の関係

「ウェブサイトや入学者選抜要項等で公表している入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)は、受験決定の参考になりましたか。」という設問に対して、全体としては「受験決定の大きな要因となった」18.6%、「受験決定の要因の一つとなった」54.3%と回答しており、この 2 項目を合わせた割合は 72.9%である。

問 12 本学を選んだ理由と受験を決める一般的な理由

【本学を選んだ理由】

本学を選んだ理由 26 項目について、進学や受験のときに本学を選んだ「大きな理由になった」という積極的な肯定回答をみていくと、上位 10 項目は、割合が高い順に、「公立(県立)大学である」71.8%、次いで「学びたい分野がある」68.9%、「資格が取得できる」46.0%、「岩手で学びたい」43.3%、学校推薦型選抜制度がある」35.1%、「教育課程や授業構成内容」32.9%、「自分の能力に適していた」28.5%、「就職先や就職率(就職に有利)」28.5%、「入学金・授業料などの適切性」27.5%、「高校や塾の先生の薦め」26.6%となっている。

【一般的な受験大学選択の理由】

問 12 では受験大学を決める一般的な理由も併せて聞いており、上記と同様の 26 項目について、「とても重要」という積極的な肯定回答をみていくと、上位 10 項目は、割合が高い順に、「学びたい分野がある」82.8%、次いで「公立(県立)大学である」70.4%、「資格が取得できる」64.3%、「就職先や就職率(就職に有利)」60.4%、「自分の能力に適していた」59.5%、「教育課程や授業構成内容」51.6%、「入学金・授業料などの適切性」48.5%、「通学時間や通学ルート」44.6%、「大学説明会、オープンキャンパス等の内容や雰囲気」43.2%、「校舎、キャンパス等のイメージ」42.9%となっており、一般的な受験大学の選択理由と実際の選択理由の差異が伺える。

問 13 入学した自身の選抜区分

新入学者の入学した選抜区分の状況について、全体としては「一般選抜(前期)又は短大一般選抜」49.9%、「一般選抜(中期又は後期)」7.4%で合わせて 57.3%、「学校推薦型選抜」33.3%、「総合型選抜」5.0%となっている。

問 14 筆記試験問題の解答時間の適切性

筆記試験問題の解答時間の適切性について、回答者合計から「5. 筆記試験は受けなかった」88 人を除いた母数 551 人でみると、「適切だった」352 人は「筆記試験を受けた」回答者の 63.9%である。

問 15 面接での質問内容の適切性

面接での質問内容の適切性について、面接を受けた学生 346 人（合計-「4.面接は受けなかった」-「5.無回答」）を母数とすると 97.4%（337 人）が「適切だと思った」と回答している。

問 16 試験のときの教職員対応の適切性

試験のときの教職員の対応について、全体として「適切だと感じた」割合は 95.6%である。

問 18 卒業後の進路についての考え

「卒業後の進路についてどのように考えていますか」という設問について、全体としては「学びの専門性を活かせる就職」が 61.7%、「大学院への進学(または学部への編入学)」18.6%、「学びの専門性にこだわらない就職」9.2%である。

問 18-2 就職を希望する場合の希望職業

就職を希望する場合の希望職業について、全体としては割合が高い順に「公務員」38.2%、「企業等」36.0%である。尚、「未定」との回答は 20.8%である。

問 18-3 就職を希望する場合の希望勤務地

就職を希望する場合の希望勤務地について、全体としては「岩手県内」47.2%、「東北（岩手県を除く）」28.7%、「関東」18.8%、「その他」5.3%である。

問 19 本学と本学の学生に関するイメージ【本学に関するイメージ】

学生が感じる本学のイメージに関して、全体として最も高いのは「学部・学科が充実している」52.0%、次いで「就職状況が良い」43.7%、「地域社会・文化に貢献している」38.0%、「在学中の資格取得に積極的である」36.8%、「教育機関としてのビジョンがある」36.0%である。（30%以上の項目）

問 19 本学と本学の学生に関するイメージ【学生に関するイメージ】

学生が感じる本学の学生に関するイメージに関して、全体として30%以上の学生が選択した事象は高い順に「個性的である」39.0%、「勉強、研究に熱心である」34.3%となっている。

岩手県立大学 2026(R8)年度新入生アンケート
集計結果報告書(抜粋)

〔担当・問合せ先〕

岩手県立大学事務局企画・広報室 企画・広報グループ

〒020-0693 岩手県滝沢市巢子 152-52

TEL:019-694-2005 FAX:019-694-2001 E-MAIL:management@ml.iwate-pu.ac.jp